

みんなで考えよう日本の安全!

月刊 セキュリティ研究

北朝鮮という国に対する望ましい日本の選択

元韓国国防省北朝鮮担当官 海軍少佐 高 永喆

住宅事業と新規事業でエンドレスのお付き合い

大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 村上健治

危機管理体制

高知県

すべての市町村に自主防災組織を立ち上げる

徳島県

県民の理解と行動を引き出す行政の使命とは

6

2007

Security Specialist Association

特集

自治体担当者様へご提案

災害時の通信システム①

アッカ・ネットワークス テレトピア

注目の企業紹介

株式会社 日本企業調査会

Info

特定非営利活動法人 NBCR対策推進機構

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会

特定非営利活動法人 日本防犯学校

学術社団 日本安全保障・危機管理学会

ASIS International 日本支部

連載

ニーモニックNEWS
ザ・ボディーガード
防犯・防災グッズ
しあわせ通信

巻末特集

セキュリティ業界有力企業一覧

ICカードのセキュリティ

ユーザーの利便性とセキュリティを考へて

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会
カード犯罪対策ワーキンググループ

電子マネーの活用、普及するICカード

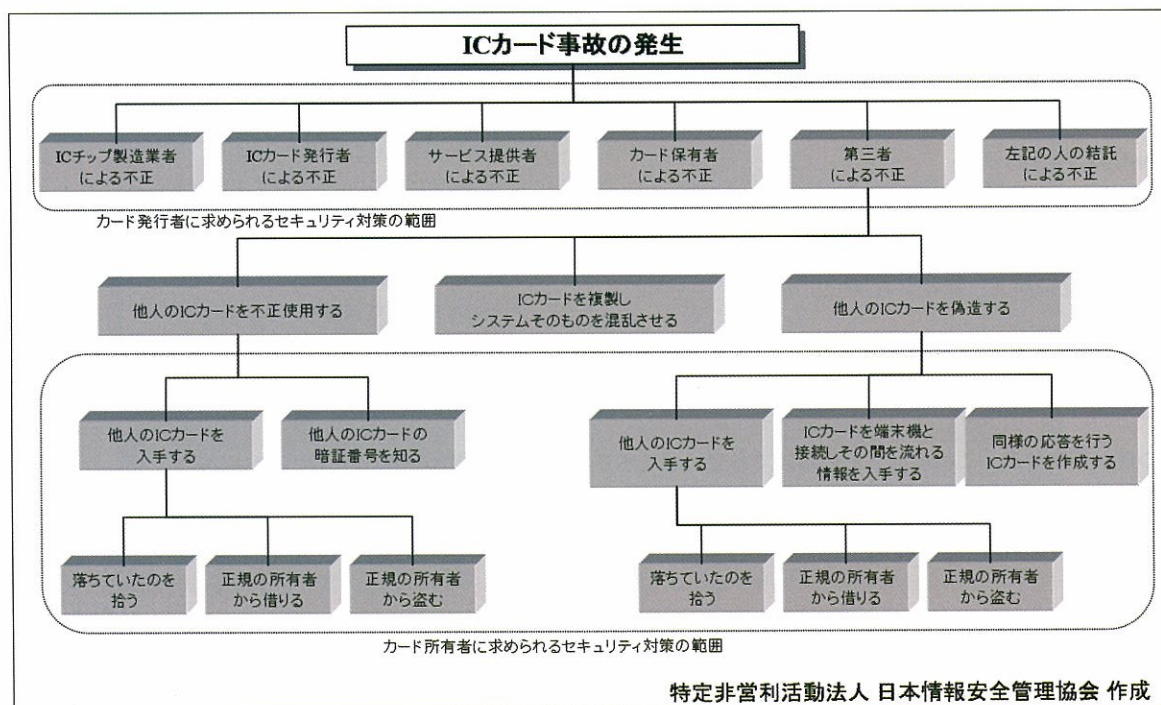
電子マネーの普及で「安心・安全」に対する消費者の要望が増えてきています。特にここ数ヶ月の間に「WAON（ワオン）」「NANACO（ナナコ）」「PASMO（パスモ）」といった大手流通業や私鉄系のICカードが発行され、今まで既に発行されている「SUICA（スイカ）」「Edy（エディ）」、既存のカード発行会社（JCB, VISA, MASTER…）のカードも含めると、多種多様な電子マネーが市場に出回ってきます。今後もさらに増えていく傾向があり、消費者は、電子マネーの種類が増えた分、使用する際にはそれぞれの場面に合わせ、TPOに応じた使い分けをするようになってくると予測されます。

電子マネーの主な支払い方法は、前払い方式と後払い方式に大別されますが、ICカードの規格上、読み取り端末を共通化すれば、1台で複数の規格対応が出

来るので、利用者は複数のカードを使いわけせずに済むようになるのですが、現状のカード発行会社各社のマーケティング戦略として、利用者の囲い込みを優先していることが予測され、今後、利用者はますます多くのカードを持ち歩くようになると思われます。

ICカードのセキュリティ

とても便利でますます普及進むICカードですが、一方で、ICカードにはリスクがあることも否定できません。磁気カードのキャッシュカードやクレジットカードがスキミングなどのカードの不正使用が社会問題になったように、ICカードに関してもなりすましや、技術的には困難といえどもスキミング被害など、カードを所有する際のリスクは必ず存在しているのです。



IC カードのセキュリティ商品

前述のように、日本における急速な IC カードの普及に伴い、スキミングやなりすましなどの不正カード使用の被害も増大してきています。そこで電子マネーのカードやキャッシュカード、クレジットカードの IC チップへの不正な電波から守る（シールドする）対策の必要性が高まって参りました。さらに運転免許証、健康保険証についても IC カード化が進められており、セキュリティ機能への対策はますます高まるばかりです。

弊協会では、法人会員関連各社とともにそれらのセキュリティ対策に対応すべく、それに対応した商品開発を行い、市場に提案しています。

これらの製品は、電磁波遮断素材で外来電波をガードすることにより、IC カードに収納されている情報の機密性を確保します。結果、ユーザーに対して IC カードを財布に保管する際の「安心感」をお届けしています。

特にこれらの製品は、弊協会内に設置されている JILCoM 認証局の情報セキュリティ対策認証基準により、適格製品として認証が発効されています。

尚、認証にあたっては弊協会技術審査委員会により、外部団体の厳正な技術的実証実験が実施され、その結果、電磁波に対して非常に高いシールド効果があることが実証されています。

利便性とセキュリティ（シールド効果）

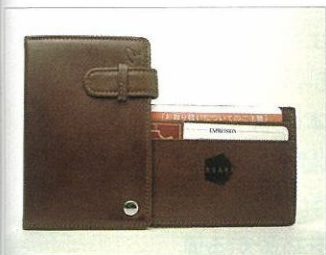
シールド効果を高めるには、密閉された空間を作りださなければならず、財布という常に開閉する製品に対して隙間を作らない構造が必要でした。密閉されたシールドと財布の利便性という相反する機能が必要だったのです。そのため、実用に耐えるシールド性能と製品形状を作り上げるのに約 1 年以上の開発期間を費やしました。試作品製作からテスト、デザイン的な改良を重ね、商品として販売することになりました。

また、多種多様な IC カードの普及により、「セキュリティ」とは反対に、使いやすい、「利便性」を考えた製品開発も考えております。

今の段階で、多数の電子マネーカードを使用するにあたって、利用者がどういった利便性を要求するのか、また「安心・安全」の要望があるのかを見極めていきたいと考えております。

現在、IC カード関連の製品については、「PASMO（パスモ）」等の普及によって複数枚のカードでもキチンと端末が読み取れる製品が販売されているようです。

しかし、それらの製品はいずれも利便性だけを考えた自動改札を対象としたものが中心のようです。今後は自動改札だけでなく、電子マネーもますます多様化することが予測されます。それらのカードの利便性に対応し、なおかつしっかりとセキュリティ対策を施された商品の研究・開発を弊協会でも行っています。



お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本情報安全管理協会 事務局 担当：剣木

〒108-0073 東京都港区三田 2-14-5 7F

TEL : 03-5765-7677 FAX : 03-5765-3181

URL : <http://www.jilcom.or.jp> E-MAIL : jilcom@aioroe.ocn.ne.jp